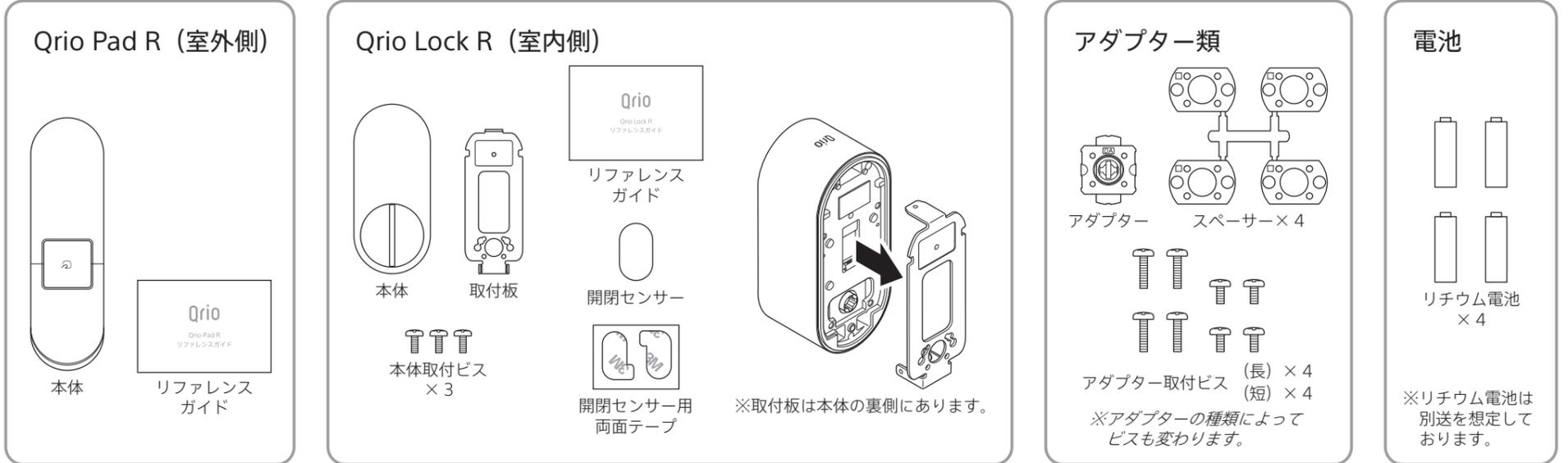


同梱物一覧



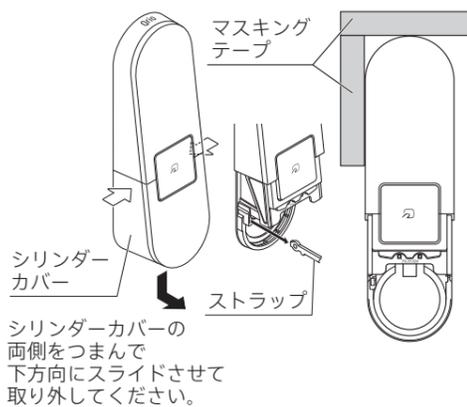
ドライバー、マスキングテープ、アルコール（または中性洗剤）、布（清掃用）は、別途ご用意ください。

1. 錠前の取り外しと扉面の清掃

扉に設置されている錠前を全て取り外し、機器が取り付け扉面の汚れを拭き掃除してください。

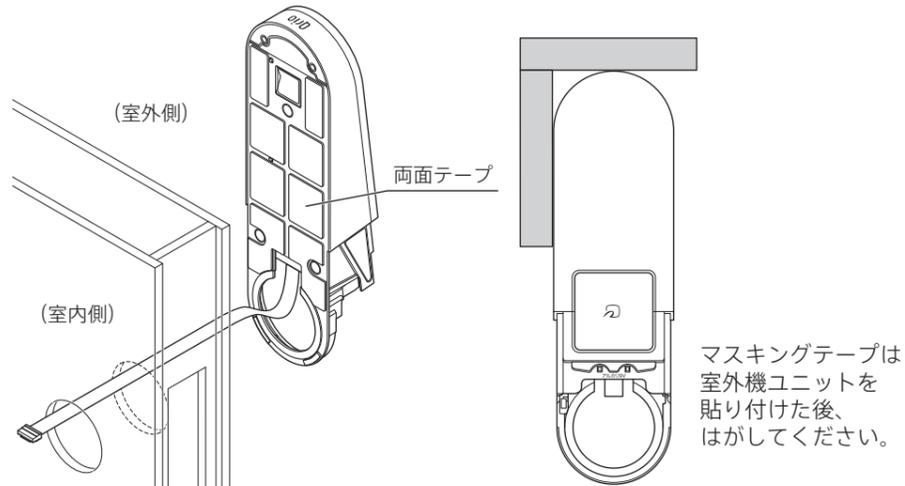
2. 【室外側】 Qrio Pad R の取り付け

〈Qrio Pad R の取り付け位置を決める〉
Qrio Pad R のシリンダーカバーを外し、ハーネスをシリンダーの穴から室内側へ通してください。シリンダーの穴に合わせて Qrio Pad R を仮あてし、図のようにマスキングテープ等で取り付け位置を決定してください。



〈Qrio Pad R を取り付ける〉

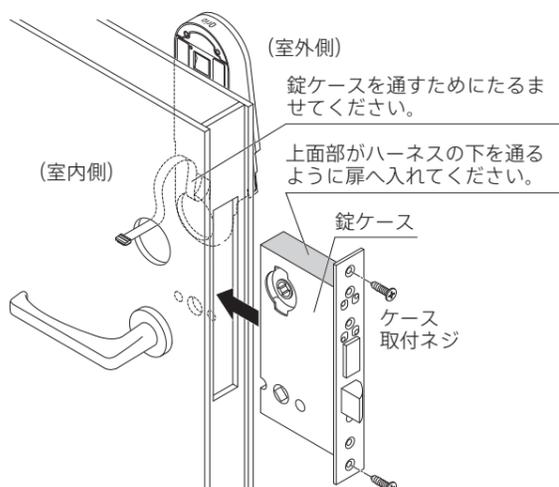
上で貼り付けたマスキングテープ位置に従い、Qrio Pad R 裏面の両面テープを用いて、扉面に接着してください。その後、Qrio Pad R がしっかりと接着するように全面を押さえてください。



3. 錠前の取り付け

〈錠ケース、ハンドルを取り付ける〉

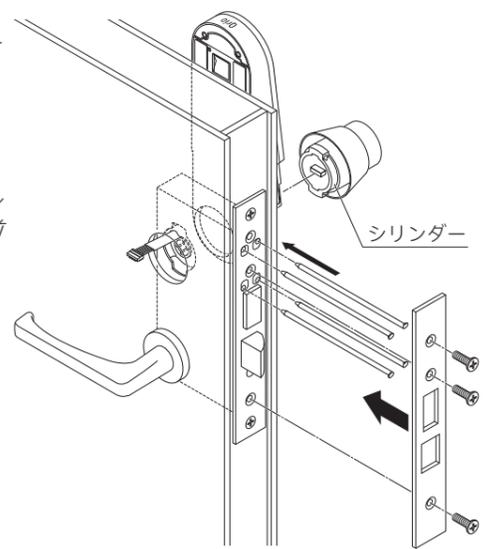
取り外していた錠ケースを取り付けてください。その際、図のようにハーネスを扉内にて弛ませ、錠ケースで挟まないように注意してください。次に、取り外していたハンドルを取り付けてください。



〈シリンダーを取り付ける〉

取り外していたシリンダーを取り付けてください。
※サムターンは取り外したままとなります。

※図の中のシリンダー固定ピンやフロント取付ネジの有無は、取り付ける錠前によって異なります。



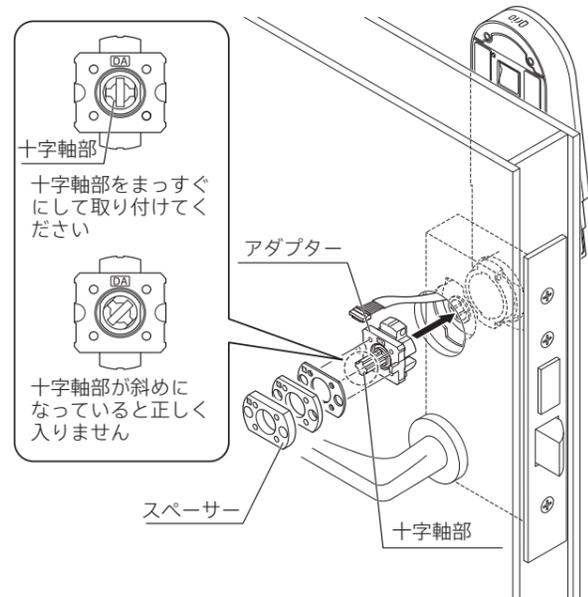
4. 【室内側】 アダプター、スペーサーの取り付け

〈アダプターを取り付ける〉

室内側よりアダプターの十字軸部を錠ケースの穴に合わせてください。取り外したサムターンと同様の方法で、アダプターを錠ケースに取り付けてください。

〈スペーサーを取り付ける〉

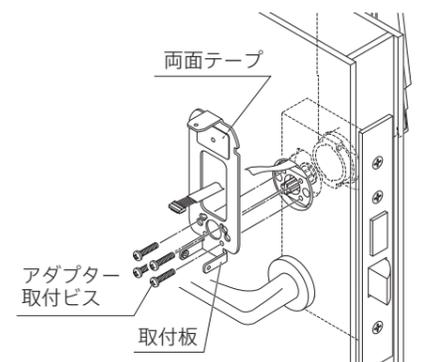
アダプターを取り付けた後、扉面に対して凹んでいる場合、付属のスペーサーを取り付け、扉面を平面にしてください。
※厚みが異なるスペーサーが4種あるため、組み合わせる等して扉面を平面にしてください。



5. 【室内側】 Qrio Lock R の取り付け

〈Qrio Lock R 取付板を取り付ける〉

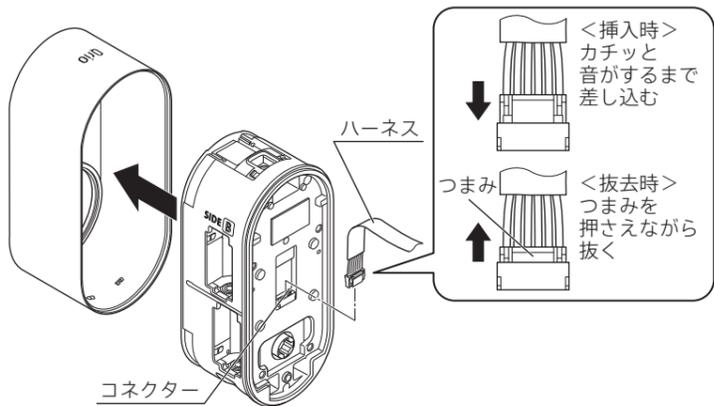
Qrio Lock R 取付板の開口部にハーネスを通し、取付板、スペーサー、アダプターをアダプター取付ビスで取り付けてください。
※取り付けの際に、ハーネスを挟み込まないように注意してください。
※位置ずれ防止のため、取付板の扉面側上部にある両面テープをご使用ください。



〈Qrio Lock R にハーネスを差し込む〉

図のようにハーネスを Qrio Lock R 裏面のコネクタに、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

次に、Qrio Lock R カバーを取り外し、ハーネスの余剰分を扉の中(錠ケース上部)へ押し込むようにして、ハーネスの長さを調整してください。



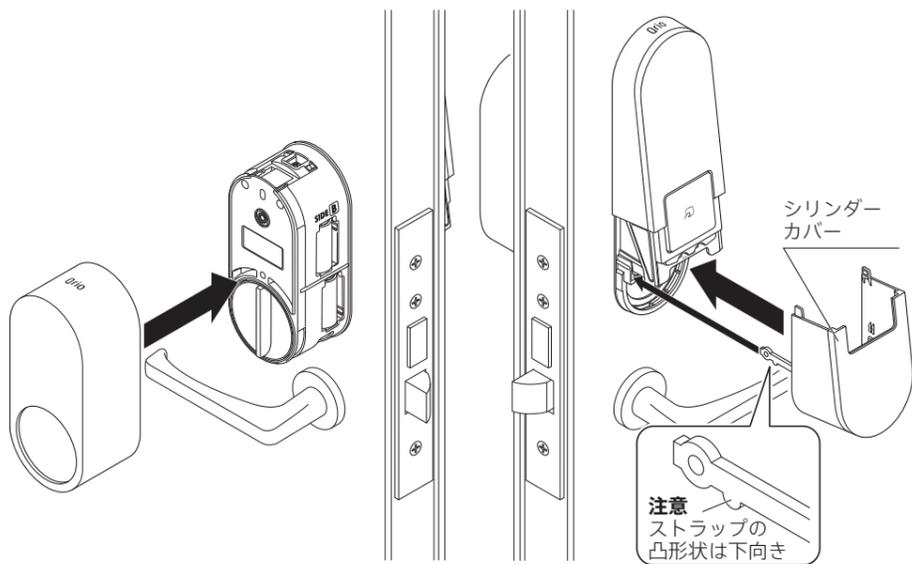
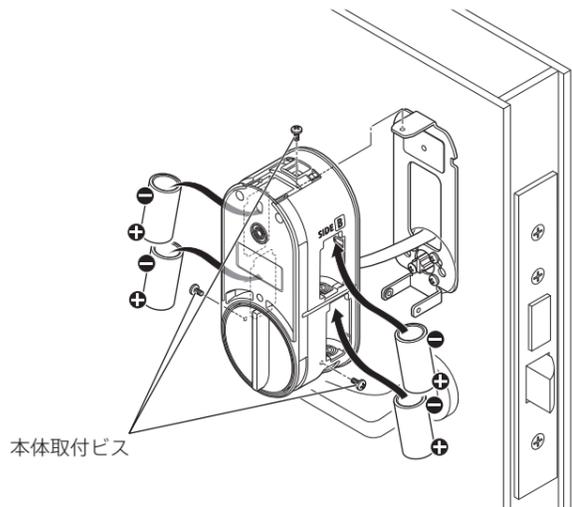
〈Qrio Lock R を取り付ける〉

図のように Qrio Lock R を取付板に本体取付ビスを用いて、上部と左右の3点で取り付けてください。

※取り付けの際に、Qrio Lock R 裏側でハーネスを多少折り返すような形になります。

〈電池を装着する〉

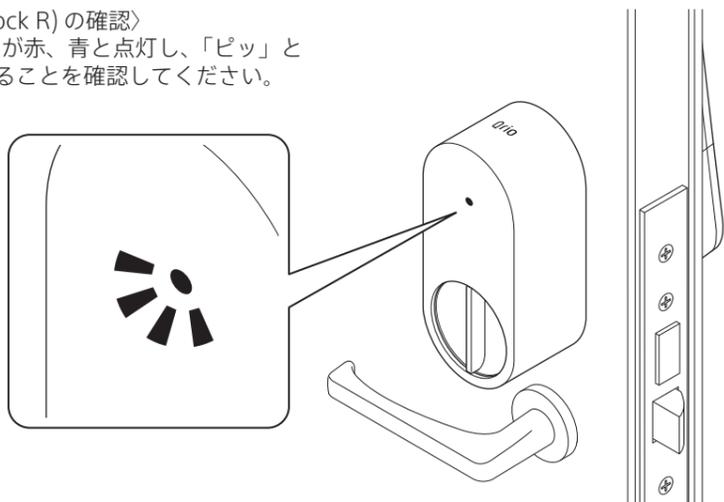
別梱包のリチウム電池4本を Qrio Lock R に装着してください。取り外していた Qrio Lock R カバーを Qrio Lock R に取り付けてください。



6. 報知の確認

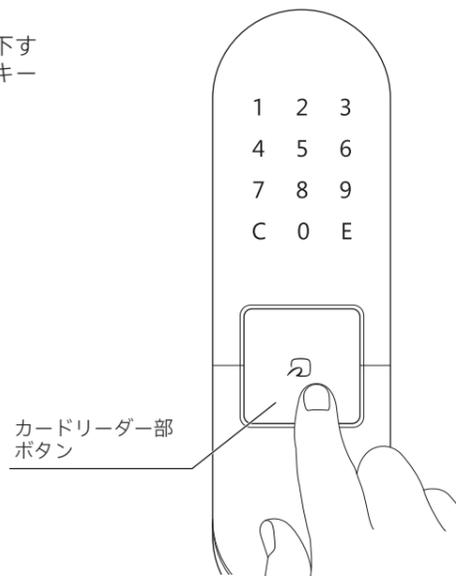
〈室内側 (Qrio Lock R) の確認〉

図のように LED が赤、青と点灯し、「ピッ」という報知音が鳴ることを確認してください。



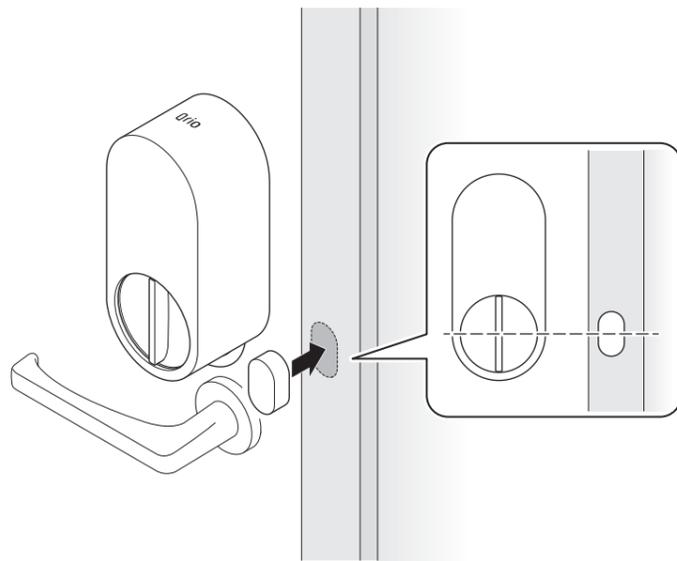
〈室外側 (Qrio Pad R) の確認〉

図のようにカードリーダー部ボタンを押下すると、「ピッ」という報知音が鳴り、テンキーが点灯することを確認してください。



7. 開閉センサーの取り付け

図のように室内側の扉枠に、付属の開閉センサーを開閉センサー用両面テープを用いて貼り付けてください。この時、Qrio Lock R サムターン部分の中心の延長線上の高さに貼り付けるようにしてください。

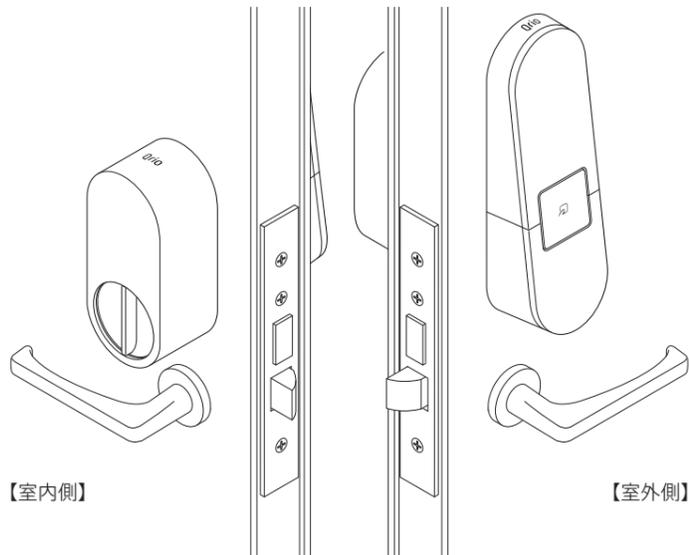


8. 動作の確認

最後に、Qrio Lock R のサムターンが正常に動作するか確認をしてください。

※サムターン施解錠時に、動作が重くないか、デッドボルトがきちんと飛び出るか等を確認してください。

【完成図】



〈2ロックの場合〉

